



金太郎生誕の地 おやま

平成 28 年度
小山町 部長マニフェスト
評価結果

平成 29 年 4 月

小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェスト評価の概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 教育部長	5
● 危機管理監	6

部長マニフェスト評価の概要

- 1 評価時期** 平成 29 年 4 月
- 2 評価方法** 各部長は、マニフェストに掲げた施策への取組結果及び目標達成状況を記載します。
なお、部長に異動があった場合は、前任者が記載し後任者へ引き継ぐこととします。
- 3 評価者** 町長は、施策毎の目標達成状況を踏まえて最終評価を行うとともに、「町長から一言」欄にコメントを記載します。
【評価区分】 A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）
- 4 評価結果** 評価結果は、平成 29 年度の部長マニフェストに反映し、施策の P D C A を図ります。
- 5 公表** 評価結果は、町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
・ホームページ：5 月初旬、広報おやま：5 月号

【部長マニフェストとは】

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策の P D C A を図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理（㊟～）、教育部長、危機管理監

平成28年度 企画総務部長マニフェスト評価結果

部長 湯山 博一

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	三来拠点事業の着実な推進	<p>【小山PA周辺地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理組合 平成29年3月設立 <p>【湯船原地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリインダストリーエリア・林業エリア基本計画 平成29年3月策定 ・ロジスティックターミナル基本計画 平成29年3月策定 <p>【足柄SA周辺地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足柄SICアクセス道路（町道2414号線）平成29年3月竣工 	<p>【小山PA周辺地区】</p> <p>区画整理に限らない手法を模索しています。</p> <p>【湯船原地区】</p> <p>アグリエリアは年度内に事業化し、林業エリアは平成29年度に事業化します。</p> <p>【足柄SA周辺地区】</p> <p>平成29年度に繰越明許し、平成29年8月に竣工予定です。</p> <p>評価区分 A（達成）</p>
2	ふるさと納税の促進	<p>ふるさと納税のより一層の促進のため、PRや返礼品を工夫します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税（個人版）額 10億円 <p>ふるさと納税（企業版）の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税（企業版）額 1億円 	<p>【個人版】</p> <p>返礼品等を追加し、18億円を超える寄附をいただきました。</p> <p>【企業版】</p> <p>2社（5千万円及び百万円）から申請を得た外、複数社から内諾を得ています。</p> <p>評価区分 A（達成）</p>
3	金太郎計画2020の着実な推進	<p>「金太郎計画2020」に掲げる事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施数 各地区2事業 <p>町民との協働を進めるため、「まちづくり活動発表会」の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動発表会の参加者数 500人 	<p>【事業の実施数】</p> <p>各地区、2～8事業を実施しました。</p> <p>【活動発表会の参加者数】</p> <p>約100人とどまりました。開催日や広報に工夫が必要でした。</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>
4	小山町特定事業主行動計画の推進	<p>子育てしやすい勤務環境づくりを進めるため、平成28年度から導入したフレックスタイムの普及を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイムの活用 3人 <p>女性職員の活躍推進のため、女性職員のキャリア形成と能力開発を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成研修の実施 2回 	<p>【フレックスタイムの活用】</p> <p>1人とどまりました。</p> <p>【キャリア形成研修の実施】</p> <p>1回開催しました。</p> <p>評価区分 C（未達成）</p>
5	自己実現型定住促進事業の推進（地方創生加速化交付金事業）	<p>若者世代の本町への移住を促進するため、都内の大学生等を対象にUIJターンイベントを開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生向けイベント参加者数 50人 <p>地域の産業や観光資源を活用し、しごととの創業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規創業件数 3件 	<p>【学生向けイベント参加者数】</p> <p>開催回数5回 参加者数110人</p> <p>【新規創業件数】</p> <p>3件</p> <p>評価区分 A（達成）</p>

◎町長から一言

- ・ふるさと納税は返礼品を工夫したことにより多額の寄附をいただきました。今後は企業版ふるさと納税にも力を入れてください。
- ・特定事業主行動計画※の推進など、職場環境の改善は努力が足りません。今後も改善努力を進めてください。

※仕事と子育ての両立を図ることができるよう職場を挙げて支援する環境を整備するための計画

平成28年度 住民福祉部長マニフェスト評価結果

部長 秋月千宏

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	国民健康保険特定健診の受診率向上	6月の受診キャンペーンの他、未受診者への個別通知、電話による受診勧奨等を行います。 ・特定健診の受診率 60%	特定健診の受診率 47.2% (受診：1,618人／対象：3,425人) …各種団体の会合でのPRや未受診者に対する受診勧奨に努めましたが、目標を達成できませんでした。 評価区分 C (未達成)
2	介護予防施策の充実	高齢者の生きがいと健康づくりを推進する「ふれあい茶論」を開催する他、「認知症サポーター養成講座」を開催します。 ・ふれあい茶論の参加者数 3,000人 ・認知症サポーター養成講座受講者 200人	・ふれあい茶論参加者数 2,625人 (社協に委託し、年間102回実施、65歳以上) ・認知症サポーター養成講座受講者 247人 (認知症地域支援推進員が直接各種団体に働き掛け、講座受講者を募集) 評価区分 B (一部達成)
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防啓発を推進します。 ・おたっしや測定会参加者 380人 ・高齢者の自主運動教室実施 15教室 ・出張けんこう講座の開催回数、参加者 35回、1,300人	・おたっしや測定会参加者 376人 ・高齢者の自主運動教室実施 16教室 ・出張けんこう講座の開催回数、参加者 41回、1,412人 評価区分 A (達成)
4	健康マイレージ事業の推進	健康マイレージ事業のさらなる普及啓発により参加者を増やし、ハッピーチケットの交換賞品増量と抽選会賞品への協賛事業所の増加を図ります。 ・健康マイレージポイント達成者 270人 ・ハッピーチケット交換賞品 8品 ・賞品協賛事業所 12社	・健康マイレージポイント達成者 実 377人 ・ハッピーチケット交換賞品 9品 ・賞品協賛事業所 14社 評価区分 A (達成)
5	健康福社会館の利用推進	健康福社会館の利用促進計画に基づき、会館の利用促進を図り、運動習慣の向上を推進します。 ・リラクゼーションスタジオの年間利用 2,800人 (内老人クラブを対象とした運動教室：21クラブ 210人) ・健康福社会館年間利用者 45,000人	・リラクゼーションスタジオの年間利用者 4,458人 (内老人クラブを対象とした運動教室：21クラブ 293人) ・健康福社会館年間利用者 43,104人 評価区分 B (一部達成)

◎町長から一言

- ・医師会と連携して、特定健診を受けやすい環境づくりを進めてください。
- ・ふれあい茶論の開催回数の多い地区と少ない地区があります。地区毎に状況は違いますが、できるだけ開催回数を増やし、参加者が増えるようにしてください。

平成28年度 経済建設部長マニフェスト評価結果

部長 池谷精市

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	市街化区域内の宅地供給の推進	市街化区域内の居住環境整備として、宅地化されていない区域について宅地開発の可能性を検討します。 ・市街化区域内の宅地開発可能性調査の実施と地権者の意向調査の実施	道路整備計画のある2地区を優先候補地として選定し、土地利用状況の把握、事業手法及び施工区域の調査、検討を行いました。地権者意向調査の実施にまでは至りませんでした。 評価区分 C（未達成）
2	富士山観光の振興	小山町観光推進会議で事業進捗の検証を行い、富士山観光を推進します。 ・富士山須走口五合目整備基本計画の策定と情報提供施設整備の推進 須走口登山道の魅力を高めるイベントを実施します。 ・山小屋で行う星空観賞と日の出観賞をセットにしたイベントの開催	情報提供施設は、環境省から施設の在り方について理解が得られました。今後は、県及び文化庁との協議を進め、基本計画の策定に着手します。 富士山観光のイベントとして、6合目山小屋での星空観賞会を計画し多くの応募がありましたが、雨天のため中止としました。 評価区分 B（一部達成）
3	活力ある農業の振興	農業の多面的機能の維持・発揮の地域活動に対して支援する「日本型直接支払制度」への取組みを推進し、地域農業の維持、活性化に努めます。 ・日本型直接支払制度に取り組む地域13地域	農業施設の維持保全を目的とする多面的機能支払に2地域が新規に取り組み、日本型直接支払制度に取り組む地域が13地域となりました。 評価区分 A（達成）
4	森林認証制度の導入	森林の環境保全へ配慮した持続可能な森林経営に取り組むとともに、東京五輪を契機とした認証材の需要に対応します。 ・民有林、町有林における森林認証（SGEC）の取得	町、静岡県等の8団体で「富士箱根森林認証協議会」を設立し、森林認証手続きを行いました。現在審査中ですが、6月に森林認証を取得する予定です。 評価区分 B（一部達成）
5	交通拠点施設の整備	老朽化が進んでいる足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します。 ・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定	足柄地区に検討委員会が組織され、住民アンケートを実施しましたが、基本計画の策定に至りませんでした。 評価区分 C（未達成）

◎町長から一言

- ・宅地開発の優先候補地について、地権者の意向調査の実施に至らなかったのは残念です。さらに指導力を発揮して、事業の推進を図ってください。
- ・今後も交流人口の拡大のため、魅力的な観光イベントの開催を期待します。

平成28年度 教育部長マニフェスト評価結果

部長 田代順泰

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	幼児教育の充実	子育て支援を町内統一的に実施するため、中核となる施設の設置構想案の検討を行います。 ・(仮称)中央子育て支援センター構想案の検討 施設分離型のこども園の設置について検討します。 ・施設分離型こども園設置計画の策定	(仮称)中央子育て支援センターは、平成29年度に建築することとしました。施設分離型こども園設置計画の策定に至りませんでした。引き続き、園児送迎、給食実施等の方法等を協議し、計画を進めていきます。 評価区分 B (一部達成)
2	キャリア教育及びボランティアの充実	小山高校生の町役場でのインターシップ受け入れの拡充に努めます。 ・小山高校1年生の受け入れ131人ボランティア登録数の向上に努めます。 ・中学生ボランティア登録率60%	・小山高校1年生164人の職場体験を町役場で実施し、本町の行政を知る良い機会を提供できました。 ・ボランティア登録率は、54.4%に留まりましたが、29事業・延べ482人が町の行事等へ参加していただきました。 評価区分 B (一部達成)
3	中学生の英語力向上	平成27年度に創設した英検受験料補助制度の活用を促し、中学生の英検受験率の向上に努めます。 ・中学生の英検受験率80%	受験率向上に取り組んできましたが、受験率は54.6%でした。平成29年度は、補助対象の機会を増加し、多くの受験を推進していきます。 評価区分 C (未達成)
4	次期男女共同参画社会づくり行動計画の策定	平成29年度が始期となる第4次男女共同参画社会づくり行動計画を策定します。	町民代表や各種団体の代表で組織した策定委員の協議により、計画が策定できました。目標値達成に向け評価検証を行い、計画を実施していきます。 評価区分 A (達成)
5	読書環境の整備	町立図書館と学校図書館の連携システム構想(ハード及びソフト)を策定し、その実現についての検討を行います。	調査・検討を行い、連携システム構想の方向性までは見いだせました。今後、情報セキュリティ対策に合った連携システムを検討し、早期導入を目指します。 評価区分 B (一部達成)

◎町長から一言

- ・ボランティア活動は、地域の方々と触れ合うことができる良い機会となるので、より多くの中学生に登録・活動してもらえよう努めてください。
- ・英検受講料補助制度は、国際的な人に育てもらうための一つの施策として行っているため、積極的に活用してもらえよう進めてください。

平成 28 年度 危機管理監マニフェスト評価結果

危機管理監 岩田芳和

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	防災啓発の推進	<p>町民の防災意識の高揚を図るため、自主防災組織や学校と連携し、防災講演会等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災講演会参加者 350 人 ・ 小学校、中学校に対する防災講話 3 校 	<p>小学校、中学校及び高等学校に対する防災講話を 5 校(小学校 3 校、中学校 1 校、高等学校 1 校)で実施しましたが、防災講演会参加者は 285 人と、目標に届きませんでした。</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
2	地域防災計画等の修正	<p>地域防災計画等について、常に最新の防災状況を反映し、その充実を図るため、見直しを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災計画、水防計画、国民保護計画及び業務継続計画の見直し 	<p>地域防災計画、水防計画、国民保護計画は見直しを行いました。業務継続計画は情報システムに係る事項が未定のため、見直しには至りませんでした。</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
3	防災体制の強化	<p>自主防災組織(40 組織)に対し、地区防災計画の策定を促すため、説明及び作成に関する啓発を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織による地区防災計画の策定 10 地区 <p>避難所、物資の提供等の確保のため、引き続き防災協定締結を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災協定締結(累計件数) 39 件 	<p>地区防災計画は、8 地区で策定しましたが目標に届きませんでした。</p> <p>防災協定締結の累計件数は、41 件となり目標を上回りました。</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
4	危機管理体制の充実	<p>万が一の災害等の発生に迅速かつ的確に対応できるよう、災害対策本部組織編成を見直し、災害発生の危機レベルに応じた体制の整備を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部組織編成の見直し 	<p>配備基準を精査した上で、警戒レベルに応じた組織編成の見直しを実施しました。</p> <p>評価区分 A (達成)</p>
5	自主防災組織と連携した防災訓練の実施	<p>自然災害による被害を最小限とするため、自主防災組織と連携して防災訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災訓練(富士山噴火避難訓練含む)参加者 7,100 人 	<p>地域防災訓練は、町内 40 ある自主防災組織を対象に実施しました。</p> <p>参加者は、7,232 人となり、目標を上回りました。</p> <p>評価区分 A (達成)</p>

◎町長から一言

- ・ 小学校、中学校への防災講話や HUG[※]などは、防災意識の高揚に繋がります。今後も積極的に取り組んでください。
- ・ 地域の防災体制の充実を図るためには、自主防災組織の防災力を強化する必要があるため、今後も地区防災計画策定の促進を図ってください。

※静岡県が開発した避難所運営ゲーム